

## 放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名		あいの風キッズステーション		職員数		10名		公表日		2026年 3月 15日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点			
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		9	1			ひとりひとりの様子がすくにわかるが、長期休暇等、児童発達、放課後等デイサービスのお子さんが同時に通所する際は、スペース利用の工夫が必要。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		9	1	法令で必要とされている基準数より多く専門職を配置している。						
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		10				トイレは車いすが入り、介助者も入ると狭くなってしまうのでもう少し広いほうがいい。 →車いす利用のお子さんが安全に使用できるよう、スペース確保のため可動物品の配置を適宜調整し対応しています。				
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		10				車椅子のタイヤを拭くための雑巾や外靴をしまう袋の置き場の出入り口が汚い感じがする。療育で使用中のものや材料など散らかりやすい。 →療育時間に使うものだけをトレーにまとめたり、片付けのルールや収納方法の見直しを行ない、環境整備を図っていきます。				
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9	1	当日利用するお子さん一人一人に合わせて準備をしている。		体の大きいお子さんは個室使用が難しい。不穏なお子さんが落ち着く部屋や場所の確保が難しい時がある。 →パーティションでゾーニングをしたり一時的に屋外への移動対応を行なうこともあります。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		10		療育については、療育カンファレンスを行い、振り返り内容を書面で共有している。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		10							
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9	1			意見として挙げる機会を定期的に設けることで、日々の不満という発言を減らして行く必要がある。意見はあるが、業務改善に繋がられていないと感ずることがある。 →定期的に時間を設けていきます。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	1			未記入2 行なわれているか分からない。 →現在第三者による評価は行なっておりません。今後検討していきます。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。		10							
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		10							
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		10							
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		10							
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		10							

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2		利用時間が短いこともありアセスメントが深められていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		週に1回療育カンファレンスを行い立案をしている。参加できない職員には、口頭や書面で共有をしている。迷ったときにはスタッフ全員で考えられており良いと思う。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			児童発達のお子さんの送り出しにバタバタしていると打ち合わせられない日もある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	その日ではないが、毎週振り返りを行なっている。気になることは都度共有できている。	送迎や短シフト職員もいるので終了後の集まりは難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		4月10月に評価と計画修正を行なっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	1	地域での交流では、近隣の老人ホームへのプレゼント作成やボロ市へのお散歩など少しずつできた。	地域交流の活動はなかなか機会がなく難しいが、地域でのイベント参加などで機会を作って行けると良いのではないかとと思う。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		お子さんの意思をくみ取るやり取りをしている様子がある。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		参加前にスタッフから情報収集もしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		未記入1
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		未記入2
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	統括管理者が参加している。	未記入2 わからない

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2		未記入1 日々の情報交換や保護者会の開催を行なっている。研修の開催はしていない。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			未記入1
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		ご家族に意向を書面で確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	10		きょうだい同士の交流メインではないが、夏祭り等のイベントできょうだい児が参加ができる機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		インスタグラム開始した。あいの風だよりを配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1	招待はしていないが、近隣の老人ホームにはハロウィン、クリスマスで訪問した。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		定期的に見直し更新している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	身体拘束は基本的に行っていない。	未記入1 計画に記載していない。 →身体拘束を行なう場合には計画に記載をします。
--	----	--	---	---	------------------	--